

目次

- [CCShareの概要](#)
- [CCShare利用申請手順](#)
 - [申請フォームの入力](#)
 - [審査の流れ](#)
- [CCShare利用上の注意事項](#)

1. CCShareの概要

CCShareは、計算科学研究センターが提供するスパコン利用者向けオンラインストレージサービスです。アカウントは1グループにつき1つで、1TBのストレージ容量を研究データの共有、共同作業のためにご利用いただけます。岡崎3機関の研究グループの皆様も利用可能です。ウェブブラウザを通じて、簡単にデータのアップロードやダウンロードができるのが特徴です。CCShareは、スパコンと同じディスクシステム上にデータを保持するため、スパコン上のバックアップとしての利用には適していません。単にデータの保管場所が必要な場合は、まず[ディスク容量の追加申請](#)をご検討ください。CCShareは、以下のような利用目的に適しています：

- ・ チーム内や、CCShareユーザー同士のファイル共有
- ・ データの公開

2. CCShare利用申請手順

CCShareを利用するためには、事前に申請が必要です。以下の手順に従って申請を行ってください。PIIに了承をとっていただければPII以外の方が申請することも可能です。

申請フォームの入力

1. 申請フォームにアクセス：[CCShareの申請フォーム](#)にアクセスします。
2. 必要事項の入力：申請者情報、利用目的などの必要事項を入力します。
3. 申請の送信：入力内容を確認し、申請フォームを送信します。
4. 受付確認：申請が正常に受理されると、受付確認のメールが送信されます。確認メールが届かない場合は、お問い合わせください。

審査の流れ

1. 審査：当センターの利用実績や、提出された利用目的などをもとに審査を行います。
2. 審査結果の通知：審査が完了すると、審査結果がメールで通知されます。承認された場合、アカウント作成完了の案内が送られます。

3. CCShare利用上の注意事項

(6/18更新)

注意事項は追加・変更される可能性があります。

ユーザーの責任

- ユーザーは自身のアップロードしたデータの適法性および内容について一切の責任を負うものとします。
- ユーザーは、違法、有害、公序良俗に反するコンテンツをアップロードしてはなりません。

アカウントについて

- 当センターのスパコン利用者がスパコン利用を終えた場合、終えてから1年を経過しても利用が再開されない場合、ひもづいている当サービスのアカウントは無効になります。
- 所内のユーザーが所外に転出した場合、転出から1年後にアカウントを無効とします。

データの取り扱い

- アップロードされたデータは、基本的にアップロードしたユーザーのアカウントが有効である期間中は保存されます。アカウントが無効になった場合、自動的にデータを削除する場合があります。
- 当センターは、データ損失についての責任を負いません。重要なデータは定期的にご自身でバックアップを取るようしてください。

- 機密データは共有範囲に注意してください。

データ容量制限

ユーザーが使用できるデータ容量は運用上の理由やサービス向上のため変更される可能性があります。

メンテナンス

スパコンのメンテナンス中はCCShareにアクセスができませんのでご了承ください。
メンテナンス予定については下記URLをご覧ください。

<https://ccportal.ims.ac.jp/maintenance>

セキュリティ対策

- 強固なパスワードを設定し、可能な場合は二要素認証を設定し、セキュリティを強化してください。

知的財産権

ユーザーがアップロードしたデータの著作権その他知的財産権は、ユーザーまたは正当な権利者に帰属します。

免責事項

- 当センターは、本サービスの利用に関してユーザーに生じた損害について、一切の責任を負いません。
- 当センターは、ユーザーがアップロードしたデータの消失、漏洩等の事故が発生した場合でも、一切の責任を負いません。